

万博の森の育成について 《令和5年度第1回緑整備部会（11/14開催） 委員コメント》

○ モデルエリアの現状と調査結果について （報告）

・UAV の画像も用い、詳細な樹冠投影図が作成できている。データを年々積み重ねることで、樹木の再生過程を見られるので、今後も継続を。 [山田委員]

○ R5 年度モデルエリアの候補地について （候補地 B と C で実施決定）

・段階的な施業をするとなった場合、施業内容はどのようなものをイメージしているか。 [山田委員]

→落葉樹を中心に周囲のアラカシを伐採し、小さなギャップを作るという案を頂いている。また、林業では3割間伐という手法があるため、アラカシを3割程度伐採することも考えている [事務局]

・候補地 B と C が有力候補ということだが、落葉樹を残す場合、モデルエリアの中心付近に生育する個体が対象になると思う。落葉樹の本数が少ないため、枯れかけの木を残すことにならないよう、樹形や樹勢が良い落葉樹があるか現地を確認することが望ましい。先枯れが発生している樹木等を選定しても枝が広がる見込みは薄いと考える。 [今西委員] →施業と切り戻し等の剪定を同時に進める [事務局]

・第1・2期のモデルエリアで強めの間伐を実施したが、その結果、他の樹木が乾燥の影響を受ける等といった問題は見られなかったため、第3期モデルエリアでも同程度の間伐を実施するという認識でよいか。 [檀浦委員]

→これまでのモデルエリアでは、間伐ではなく常緑樹を皆伐したが、特にモデルエリア 3-13 では乾燥が進行し、残された落葉樹の枝が広がっていないという結果が出ている。常緑樹全てを伐採したことにより問題が生じていると考えており、次回のモデルエリアでは常緑樹の間伐を考えている。 [事務局]

・モデルエリア 3-13 及び 3-30 は、樹冠が広がっていない。これまでのモデルエリアについて、次年度は様子見の予定か。あるいは、切り戻し、土壌改良等の対策を実施する予定か。 [今西委員] →土壌改良までは検討していないが、切り戻しを行うことは検討中 [事務局]

・B・C が候補地ということだが、ここは有効土層が薄い場所である。伐採後に細い木が残された場合、倒木のおそれがあると考え。園路沿いにおいて倒木が懸念される樹木はあらかじめ伐採する、あるいは切り下げ等の剪定を行うことで、通行の支障にならないようにする対応が必要と考える。B 周辺は人通りが少ないが、特に、C 付近の園路はコスモスフェア等の際に人が多く通る。C は特に落葉樹が少なく、この周辺にはコケ類が生育していることから、地下で帯水して水はけが悪く根の張りが浅い場所であると予想されるため、剪定を行うか、切り戻して樹高を低くしておくなど、検討していただきたい。 [大藪委員]

○ 林班の再検討について （事務局案了承）

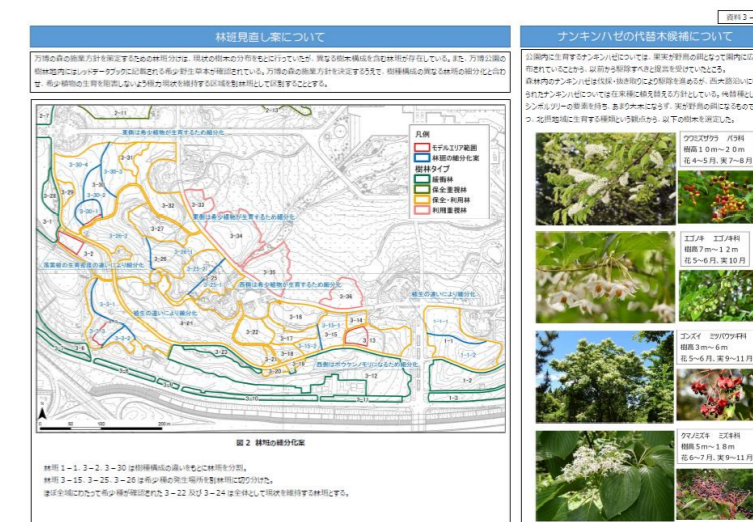
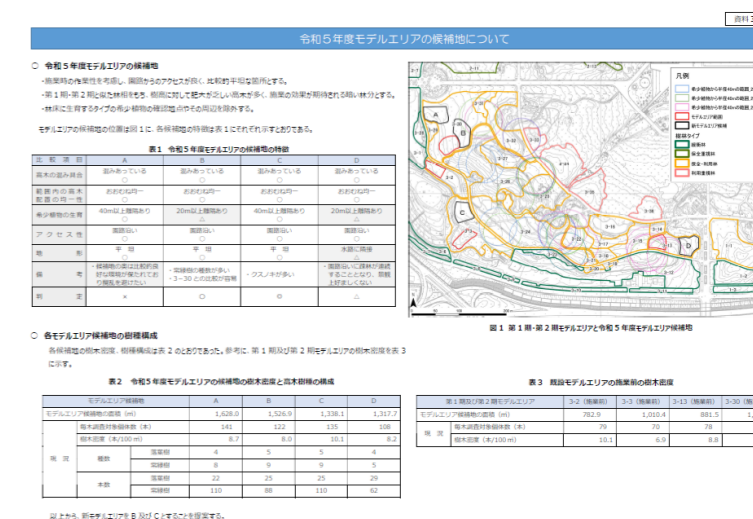
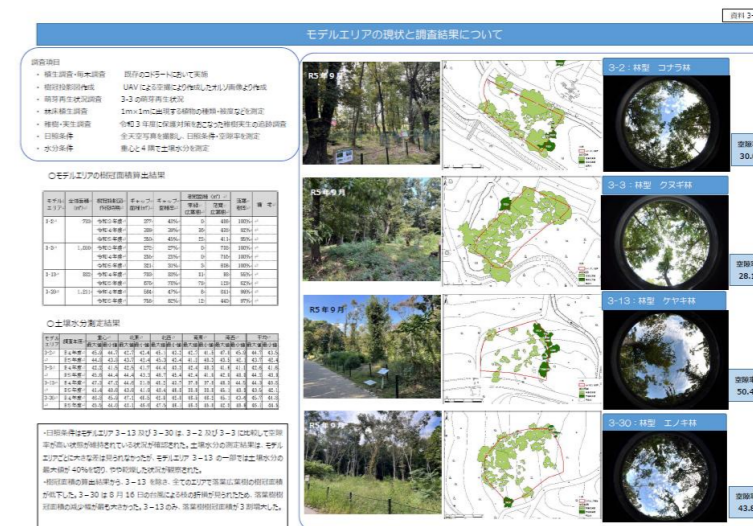
○ ナンキンハゼの代替植栽について （事務局案の4種を混植することで了承）

・以前、ナンキンハゼは秋の早い時期に赤く紅葉するため、イチョウやヤナギ、背後のプラタナスの色合いから、鑑賞的な要素も考慮が必要ではないかと申し上げた。しかし、現地確認の結果、ナンキンハゼは周囲の樹木に埋もれていることから、観賞用というよりは鳥類の餌になるかどうかを重視して代替木を選定していると連絡を頂いている。そのような考え方の場合は、複数の樹種を組み合わせる植栽するのがよいと考える。 [井原委員]

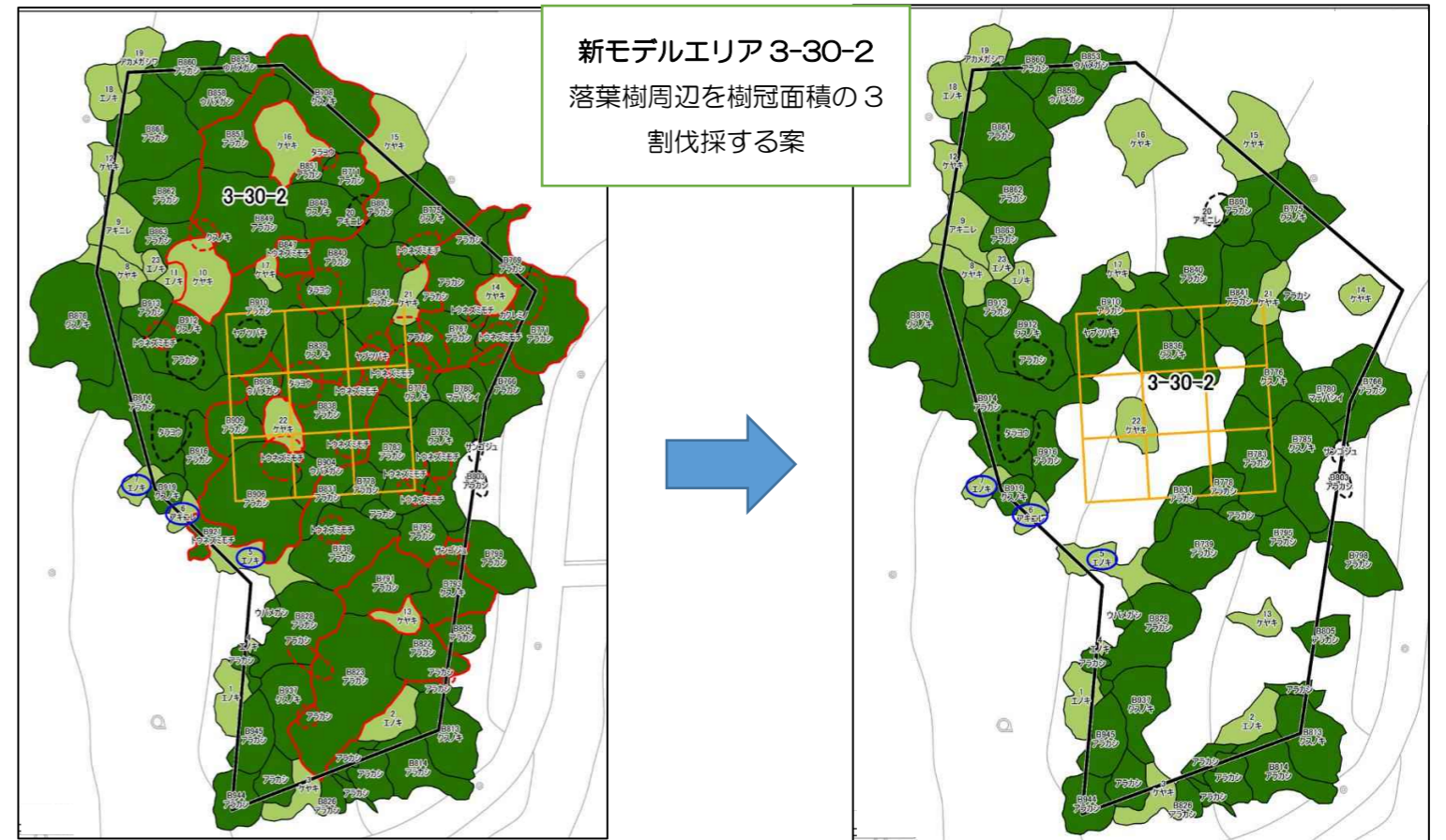
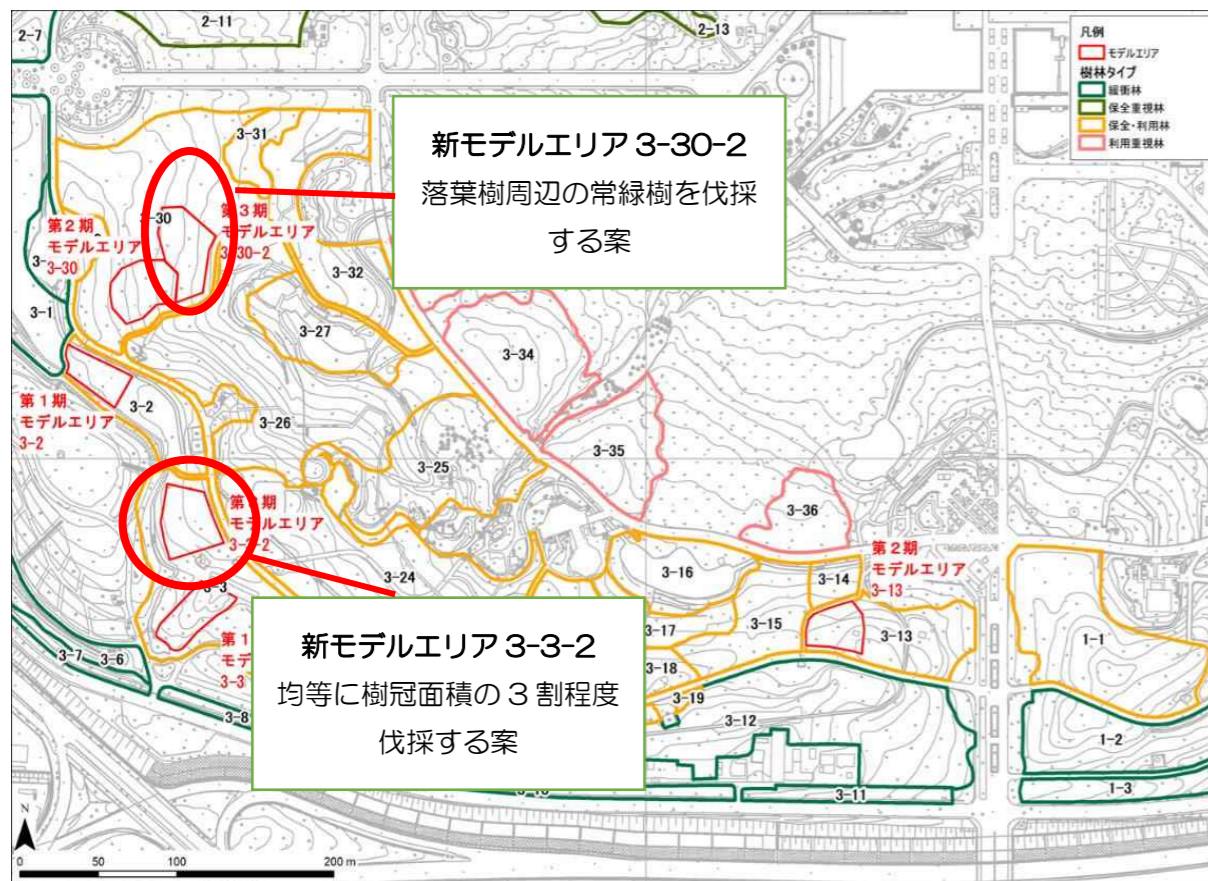
・この場所は水路沿いであり、地下水位が高い可能性があるため、ゴズイのような乾燥を好む種は枯れてしまう可能性がある。全種植栽して、うまく生育しない種は別の種に変更するなど、柔軟に対応していただきたい。また、こちらも有効土層が浅いため、ナンキンハゼを抜くのであれば、植栽柵の設置や溜まった水の排水、通気性向上のための施工等をご検討いただきたい。 [大藪委員]

○ その他

・観光客が 2025 万博に来た時に、こちらの万博記念公園にも来てもらえるような工夫が必要である。昔の万博の跡地で、最先端の森づくりをしているという PR 資料や案内板などがあるとよいのではないかと。 [今西委員]



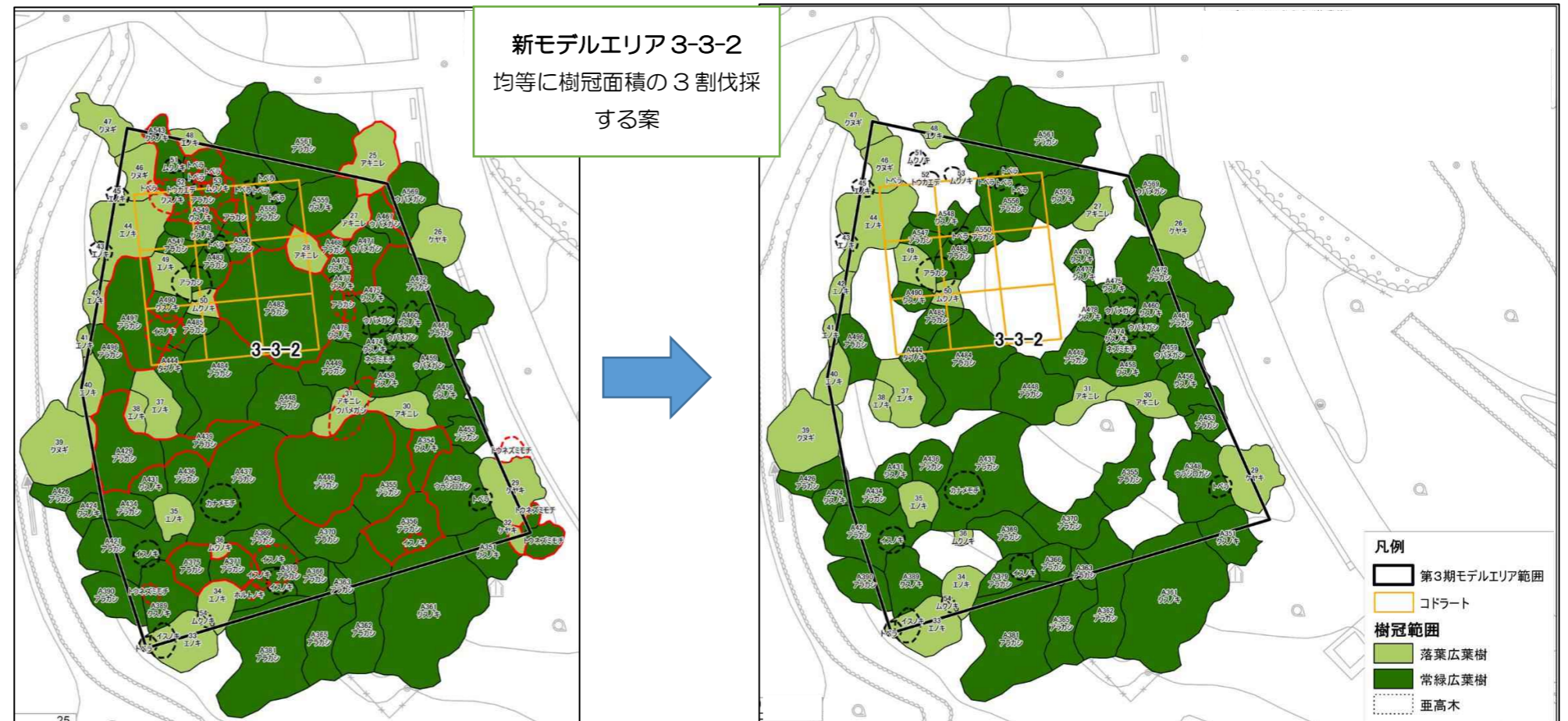
令和5年度モデルエリアの施業内容について



モデルエリア	全体面積 (m ²)	ギャップ面積 (m ²)	ギャップ率 (%)
3-30-2	1338.9	501.7	37.5
3-3-2	1258.6	385.0	30.6

○新モデルエリアの施業方法について

モデルエリア内の常緑樹を皆伐する施行を行ってきたが、ギャップが大きすぎたために乾燥が進み、下草の繁茂が著しい。残された落葉高木も横に枝を広げることがなく、ギャップが狭まる傾向がみられない。今回は急激な環境の変化をおこさないためにも、常緑樹も残り、3割程度を目標に施業することとする。モデルエリア 3-3-2 は大きなギャップが生じないように均等に伐採し、3-30-2 は落葉樹の周辺を重点的に伐採する。



モデルエリアの補植計画について

○種子採取・苗木育成状況

<種子採取状況>

令和 5 年度は 13 種類（うち初採取はカスミザクラ、ウグイスカグラなど 6 種）を採取
全量播種予定

<苗木育成状況>

ポット苗：令和 5 年 10 月時点で 679 本を育成中

令和 5 年の記録的猛暑で枯損したのは 11 種 20 本（枯損率 2.9%）

植栽に適した高さ 50 cm 上の苗木は 220 本

植栽が急がれる 80 cm 以上の苗木は 9 種 31 本

実生苗：令和 4 年度に播種した 12 種の実生苗中、9 種の発芽を確認

<植栽後の苗木育成状況>

成長量（平均）が最も大きい種は以下の通り

令和 3 年度植栽木：タニウツギ（平均成長量約 107 cm：モデルエリア 3-2）

令和 4 年度植栽木：ウツギ（平均成長量約 63 cm：モデルエリア 3-13）

令和 5 年度植栽木：ケヤキ（平均成長量約 43 cm：モデルエリア 3-13）

最大樹高は令和 3 年度植栽のタニウツギが 230 cm、令和 4 年度植栽のタニウツギが 150 cm、

令和 4 年度移植のムクノキが 175 cm に達していた

枯損木はシラキ、タニウツギなど計 7 本ですべてモデルエリア 3-2

○苗木の植栽計画

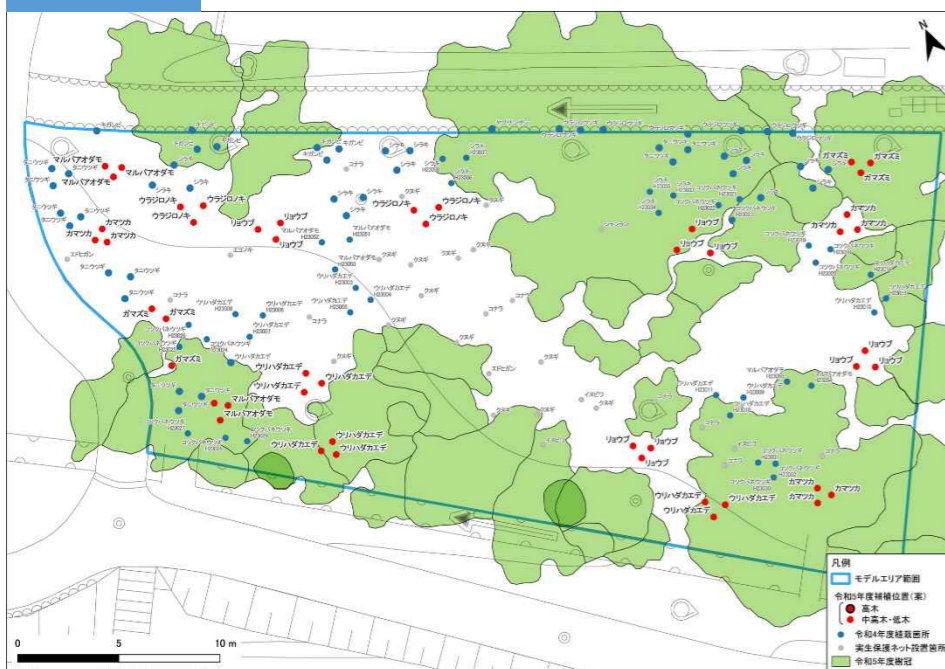
令和 5 年度はモデルエリア 3-2, 3-13, 3-30 に苗木を植栽する

生育環境区分	樹種名	高さ区分	モデルエリア別植栽本数			計	
			3-2 コナラ林	3-13 ケヤキ林	3-30 エノキ林		
コナラ林	マルバアオダモ	中高木	6			6	
	ウラジロノキ		6			6	
	カマツカ		12			12	
	リョウブ		12			12	
	ガマズミ		6			6	
エノキ・ケヤキ林	コクサギ	低木		9	12	21	
	フユザンショウ			3	3	6	
	クマノミズキ			9	6	15	
共通	ウリハダカエデ	中高木	6	3		9	
林縁等	ゴズイ			3		3	
	シラキ		3	6	9		
	ウツギ	低木		2	2	4	
	タニウツギ				3	3	
	ヤブサンザシ				6	6	
	キガンピ				3	3	
総計				48	32	41	121

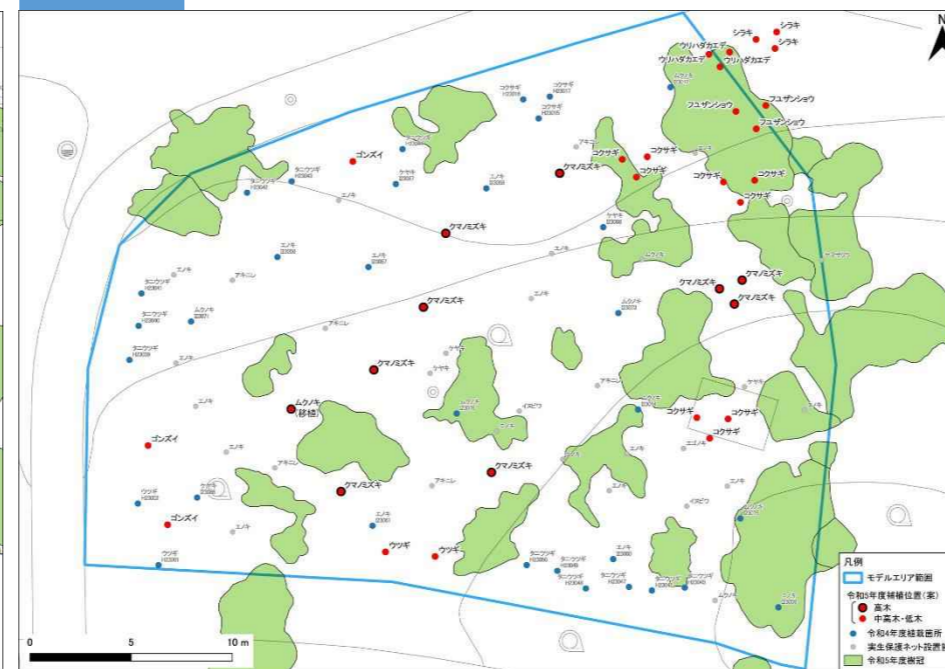
表 モデルエリア別植栽樹種および本数(案)

- ・土壌改良方法、植穴サイズなどは、昨年度の植栽した苗木の生育に大きな問題がないため、昨年度と同様とする。
- ・誤伐対策については、タニウツギ、ウツギなど一部について、樹形改善などを目的に、試験的にトリカルネットの高さを 50cm とする。
- ・モデルエリア 3-13、3-30 について、ギャップ部分に成長が早く、高木となるクマノミズキを配植。
- ・ウツギ、タニウツギ、ガマズミなど花の美しい低木を林縁に配植。

3-2-1



3-13



3-30-1

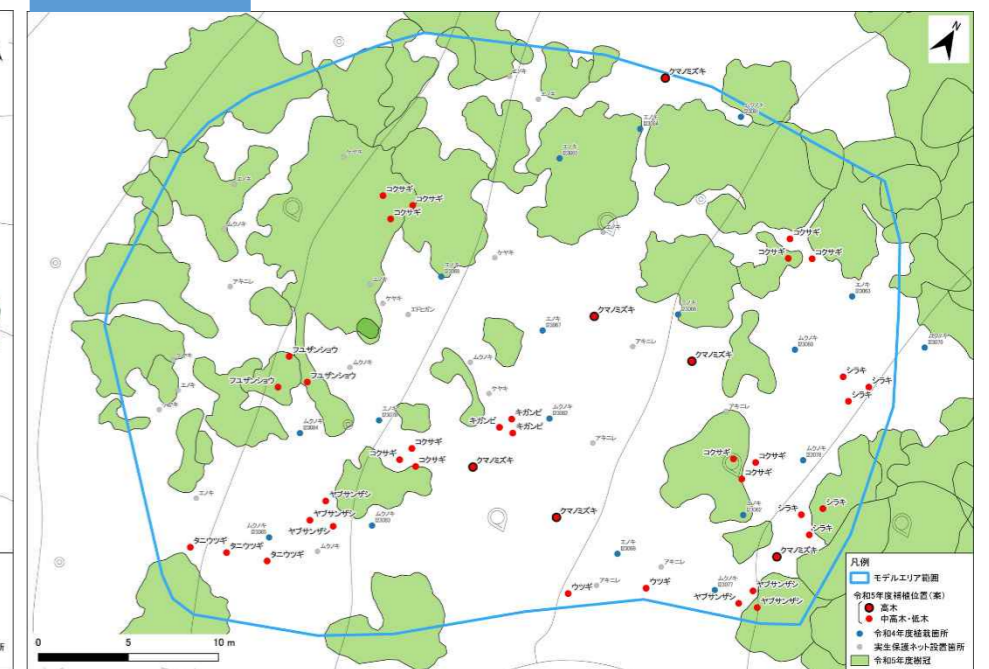


図 モデルエリア内苗木配植計画(案)

林班見直しについて

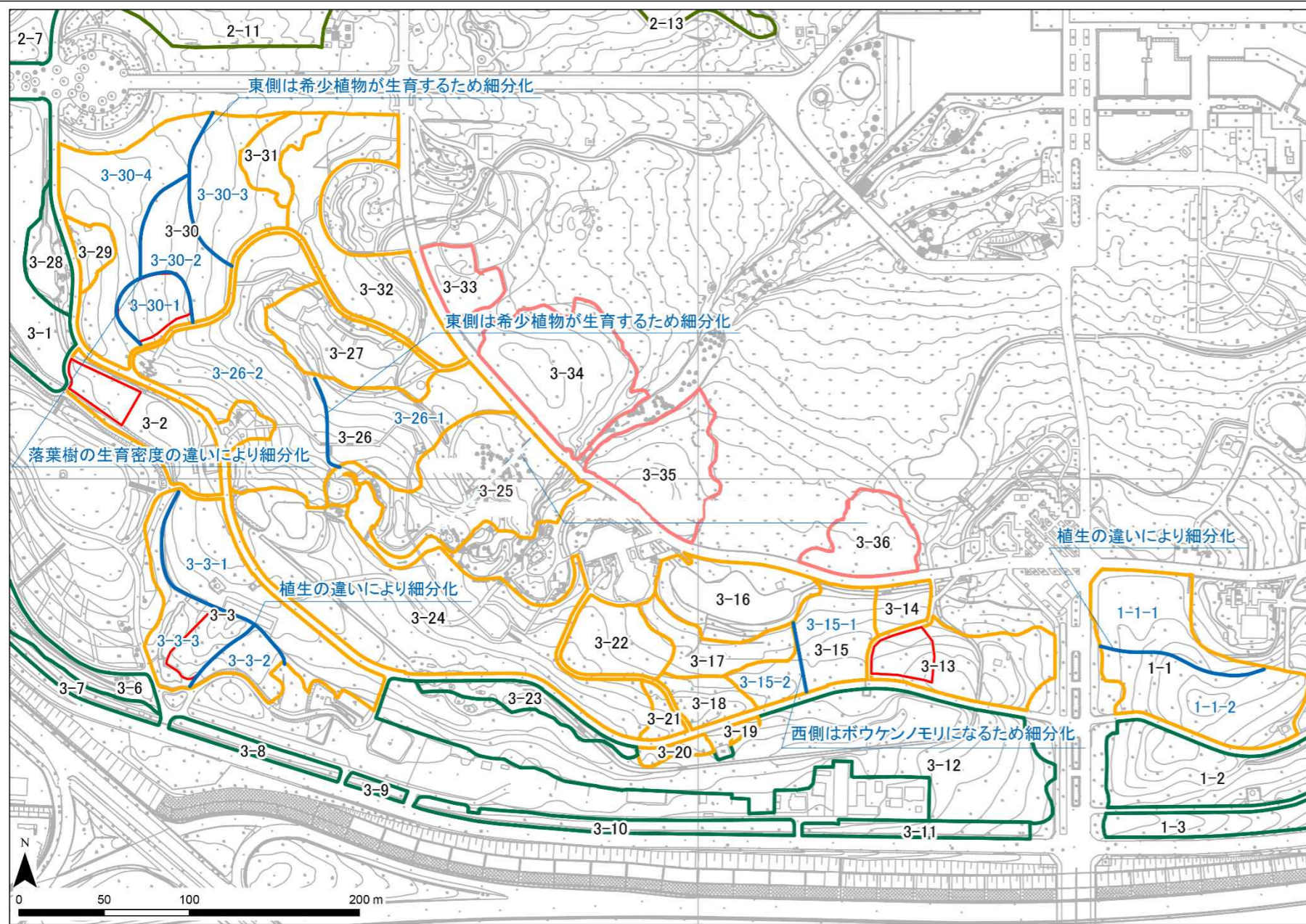


図 林班の細分化

林班 1-1、3-3、3-30 は樹種構成の違いをもとに林班を分割。
 林班 3-15、3-26 は希少種の発生場所を別林班に切り分けた。
 ほぼ全域にわたって希少種が確認された 3-22、3-24 及び 3-25 は全体として現状を維持する林班とする。

ナンキンハゼの植え替えについて

万博の森内のナンキンハゼは伐採・抜き取りにより駆除を進める方針であるが、西大路沿いに植えられたナンキンハゼについては在来種に植え替える方針とし、以下の4種を取り混ぜて植栽することで了承いただいた。
 そのうちクマノミズキについては植栽可能な樹木が調達できないことが判明し、ウミズザクラ2本、エゴノキ3本、ゴンズイ1本を植栽することとした。
 植栽予定地は加湿であり排水等の対策をとるようにとのご意見をいただいたため、高植とするとともに、水路側に向けてトレンチを掘り黒曜石系パーライト等で埋め戻し排水を促す施工とした。

	ウミズザクラ バラ科 樹高10m~20m 花4~5月、実7~8月	2本植栽
	エゴノキ エゴノキ科 樹高7m~12m 花5~6月、実10月	3本植栽
	ゴンズイ ミツバウツギ科 樹高3m~6m 花5~6月、実9~11月	1本植栽
	クマノミズキ ミズキ科 樹高5m~18m 花6~7月、実9~11月	調達不可

